

7 伐採の方法

大きな木を伐るのは危険ですので、慣れた人や森林作業のプロに任せます。大きな木を切る時は安全に注意をはらいます。安全のためのヘルメットは欠かすことはできません。

皆伐の時は林の縁からはじめ、林外に木を伐り倒します。このため林の一番下手右側から始めると効果的です。間伐はどこから始めてもかまいません。

(1) 安全な方法

① 倒す方向を見る

他の木にかかると後の処理がやっかいになりますので、なるべく「かかり木」にならない方向に切り倒すことが重要です。また先に切り倒した木の上に倒しますと根元がはねて思わぬけがをします。十分な注意が必要です。地面から大きく根が浮いて出ている場合、その反対側は一般に倒れやすい方向です。また斜面では下方に傾いているのが普通ですから、そちらの方向に倒しましょう。したがって、伐るのは山側からです。

② 下げ振りで確認

傾きの方向がよくわからない時にはひもと重りで下げ振りを作り、幹にあて傾きの方向を確認します。ただ樹冠が大きく傾いて偏っている場合は逆に倒れることをもあります。判断要素を一つにしないで、総合的に判断することが大事です。

③ 倒れる距離は

倒れる位置と方向を見極めることは重要です。一般的に樹の高さは20mを越えることはありませんので、根元からそれ以上に下がります。

④ 枯れ枝に注意する

倒れる時に他の木とぶつかり枝が折れて思わぬ所に飛んでいきますので、周囲の人の作業を中止させ注意を徹底します。



倒れる方向に受け口を作る



倒す方向を再確認する



倒れた木を測定する